

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市岩崎地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

担当地域は14町6地区連合町内会と広域であり、人口51,100人強、65歳以上の人口が12,000人強であり、高齢化率は23.47%となっています。また市営・県営・UR住宅が多く、高齢者向け住宅も増えています。また年々地域で活躍されている役員等が減り、次世代の担い手が少ないため、自治会・町内会等の活動に影響を及ぼす事が考えられます。

このような状況を踏まえ、ケアプラザとして相談には迅速・丁寧に対応し、積極的に訪問を行う体制づくりに努めてまいりました。

各地域で様々な課題はありますが、特に高齢化率の上昇、高齢者単身世帯の増加により、今まで以上に地域支援が必要とされている現状の中、地域との顔の見える関係づくりの強化・関係機関との連携強化を図りました。また同時に、地域福祉の推進において重要な役割を果たしている、地域住民を主体とした取組やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、高齢者を地域で支えるコミュニティの構築を推進しました。

各団体等が地域の資源と課題を共有し、有機的な連携が図れるように支援しました。

特に5職種との連携と生活支援体制整備事業の推進により高齢者の社会参加、生活支援、介護予防に向けた取り組みが段階的に実施され、地域包括ケアシステムに向けて基盤を整えてまいりました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・施設を快適に安心して利用していただけるよう、毎月の施設点検日(第4月曜日)に館内清掃・電気設備・空調設備、自動ドア・エレベーター等の保守点検を定期的に行いました。
- ・上記以外に法令、規則等で定められている保守点検である消防設備・害虫駆除等を適切に行いました。
- ・建築基準法12条に基づき、自主点検により破損・汚損の発見に努めました。また、横浜市(委託点検業者)による「公共建築物劣化調査・点検」を実施しました。
- ・各点検にて不具合が確認された場合は、区に報告し修理を行いました。
- ・施設周辺の清掃、植栽などの環境美化に関しては、職員及びボランティアの協力により実施管理しました。
- ・館内の清掃、消耗品の補充・管理は、職員により随時実施しました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザとして5部門（地域包括支援・地域活動交流・地域生活支援・居宅介護支援・通所介護）が連携することにより、様々な地域のニーズ・地域における、子ども・高齢者・障害者などのニーズを把握し、解決に向けた事業展開を図りました。
- ・所内回覧、朝ミーティング・各部門での会議・運営委員会・職員会議等とおして職場内での情報共有を図りました。特に地域へ向けた事業等は地域包括支援・地域活動交流で共催にて実施しました。
- ・職員、利用者に年間の光熱水使用状況を広報し、エネルギー資源の節減、プラスチック・紙資源のリサイクル等に取り組みました。
- ・施設運営に関しては、法人本部と連携して業務分担を行い、事務作業の効率化・物品購入等のコスト削減を図りました。
- ・地域との信頼関係が保てる安定した職員体制の維持・継続を図りました。

ウ 苦情受付体制について

- ・利用者等から申し出があった場合、その解決のための体制・方法を定め、苦情等を放置することなく、公平・中立な立場から迅速かつ適正な解決を図りました。居宅介護支援事業に対する苦情が1件あり、責任者による早期対応・早期報告の実施をしています。
- ・苦情の受付担当者、責任者、第三者委員を館内に掲示しています。
- ・ご意見箱を常設し、ご意見、苦情をはじめプラザに対しての申し出をしやすい場所である2階ロビーに設置しています。
- ・ご意見、苦情等の記入用紙を部屋利用時に使用する各利用団体登録ファイルに添付しています。
- ・職員会議等において、ご意見・苦情の受付について報告し、利用者からの日常生活における身近な疑問、気にかけていることや、プラザの施策に対する要望等の情報共有を図りました。
- ・年1回利用者アンケートを実施し、結果及びご意見等を閲覧として配架しています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・万が一の災害の発生に備え、マニュアルの整備・緊急時の対応について日頃より意識の向上を図り、常に緊急時の対応ができるように努めました。
 - ・近隣地域の防災訓練・防災拠点での訓練に参加することにより、地域との協力体制が取れるよう関係づくりに取り組みました。
 - ・消防計画に基づき年2回以上、貸し館利用者・通所介護利用者も参加し、避難訓練・消火訓練・通報訓練・AED取り扱いなどの訓練を実施しました。
 - ・特別避難場所として、要援護者の受け入れをおこなうための備蓄物資の管理を行っています。また、近隣の方への周知を行うため、館内に特別避難場所の説明及び備蓄物資一覧を掲出しました。
 - ・災害時の連絡手段を確保する為に、携帯電話の災害時優先電話を用意しています。
 - ・開館、閉館時には職員が館内外の異常有無の点検を行っています。
 - ・閉館後は機械警備にて館内の防犯を実施しています。また隣に公園がある為、近隣の交番にパトロールなどの協力をお願いしています。
 - ・閉館時など緊急・災害時には、緊急連絡網により職員間で連絡が取れる体制を整えています。
 - ・認知症などの徘徊対応として、保土ヶ谷区SOSネットワーク事業実施による関係機関との協力・見守り体制の構築に取り組みました。
- 平成28年度の事前登録者は21名（延べ人数27名）、協力依頼は8件でした。

オ 事故防止への取組について

- ・ 日常業務にてヒヤリハット・事故が発生した場合、速やかに上長へ報告し、事故再発防止にむけて、毎月実施している事故予防対策委員会にて対処策の検討を行いました。
- ・ 年1回施設環境・職員の業務姿勢などについて全職員を対象にヒヤリハットアンケートを実施し、全体職員会議で結果報告を行い、事故予防の意識を共有化しました。
- ・ 通所介護事業課に関しては、朝、夕にミーティングを行い、利用者情報を共有すると共に事故が発生しないよう処遇の確認を行い、事故防止に努めました。
- ・ 万が一、事故が発生した場合は、速やかに所轄する行政に報告しています。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 全体職員会議において、個人情報の取り扱いについての研修を実施しました。
- ・ 個人情報取り扱い自己チェックアンケートを実施し、集計結果を基に各部門で再度検証し、意識の向上と注意喚起を図りました。
- ・ 個人情報の含まれた書類・ノートパソコンは鍵の付いた書庫に保管しています。
- ・ 個人情報をFAXする場合は、マスキングを実施し送信先は2人で確認、郵送の場合は、郵送先の確認・内容の確認・封入作業まで2人で確認を行っています。
- ・ 通所介護事業課に関しては、連絡帳は袋・内容物・カバンを2人で確認後に返却し、請求書などは基本的に家族様へ手渡しとしています。
- ・ 万が一、個人情報漏洩に関する事務処理ミスが発生した場合には、速やかに所轄する行政へ報告しています。

キ 情報公開への取組について

- ・ 基本的に個人情報以外の情報は公開するという姿勢で事業を行いました。
- ・ ケアプラザの情報は、広報紙「星」・保土ヶ谷区の広報・ほっとなタウンマップ・自治会の掲示板等を活用し、地域住民の方へ情報提供をしました。
- ・ その他の情報公開として、事業計画・事業報告・決算書・利用者アンケート・介護保険関係の契約書、運営規定等も公開しています。
- ・ 法人のホームページでは、関係施設の決算書などの公表も行っています。
- ・ 介護サービス情報の公表においては、本年度も調査を10月に実施し通所介護・居宅介護支援の情報を公表しています。

ク 人権啓発への取組について

- ・女性や子ども、高齢者、障害者に対する差別や暴力・虐待、同和問題や民族・人種、疾病、職業による差別など、人権に関わる様々な問題があります。そして、社会情勢の変化とともに、人権をめぐる問題は複雑化・多様化しており、新たな課題も生じています。性別や年齢、障害の有無や国籍にとらわれることなく、誰もが互いに多様な個性を尊重しあい、自らが多様な力を発揮し、ともに生きる社会の実現をめざす施策を推進しました。

横浜市の、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現のために、人権尊重を基調とした運営、すなわち、ケアプラザ職員一人ひとりに人権を尊重する意識と、豊かで鋭い人権感覚が求められます。職員には研修をとおして、人権に関する幅広い知識を身につけ、人権感覚を高めて、地域へ人権尊重の重要性とその侵害の重大性について理性と感性の両面から理解を深めもらうよう人権啓発事業を内部研修で実施しました。

- ・職員は日頃から自己研鑽に努め、人権感覚を磨いていくことが求められます。また、差別や暴力・虐待など人権を侵害する行為が人をどんなに深く傷つけるか、自分自身の問題として捉えるとともに、人権を侵害する行為をなくすという明確な目的意識を持つことに努めました。

人権啓発は市民一人ひとりの心のあり方に関わる問題でもあることから、その自主性を尊重しつつ、地域とともに一緒に考えるという基本姿勢に立ち、主体性を持って、粘り強く取り組みました。

- ・人権を守るための手法に係る啓発、男女共同参画に関する啓発・DVの防止のための啓発、子どもの権利条約に関する啓発、児童虐待防止に関する啓発、高齢者虐待防止に関する啓発、認知症を正しく理解するための啓発、障害と障害児・者に対する理解を深めるための啓発などについて、相談窓口対応、講座、広報誌を通して推進に努めました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜市の作成した「地域ケアプラザ省エネ運用マニュアル」に基づき、節電対策として冷房28℃暖房20℃の適正設定、不要な照明の消灯、パソコン・FAX等使用しない時は電源を落とす又は省エネモード設定を実施し、待機電力の管理を実施しました。

- ・ごみゼロ推進員を職員より選出し、ごみゼロルート回収の手引きに基づいたゴミの分別・リサイクルを行い排出量削減に取り組みました。また、紙資源の有効活用として、両面コピー・裏紙利用にも取り組みました。

- ・ペットボトルのエコキャップ事業にも取り組みました。(過去通算 477,038 個)

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

・ 管理者	1 名（常勤兼務）
・ 看護師	2 名（常勤兼務）
・ 主任介護支援専門員	1 名（常勤兼務）
・ 社会福祉士	1 名（常勤兼務）
・ 介護支援専門員	1 名（常勤兼務）
・ 事務員	1 名（非常勤）

《目標に対する取組状況》

要介護認定の結果、要支援 1, 2 と認定された方への介護予防ケアプラン、平成 28 年 1 月から介護予防ケアマネジメントへ移行された方へのケアプランを作成するとともに、地域のケアマネジャーさんに予防介護支援及び介護予防ケアマネジメント業務を委託し、ケアプラン等への助言、確認をしてまいりました。利用者様の主体的な目標設定により支援計画を作成するとともに、目標達成に向けた給付サービスのみならず、インフォーマルサービスを利用することで、住み慣れた地域の中で、ご本人らしい生活の維持・向上が図れるよう支援してまいりました。又、地域のケアマネジャーさんとともに介護予防ケアマネジメント（総合支援事業）へのスムーズな移行が出来ました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

● なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

3 職種、プランナー及び関係機関と連携を図りながら適切なプランを作成しました。必要に応じて、インフォーマルサービス、地域資源の活用なども取り入れたプランを作成しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
3 1 0	3 1 6	3 3 0	3 2 3	3 2 5	3 2 6
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
3 3 5	3 3 1	3 3 1	3 2 6	3 2 9	3 3 0

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 主任介護支援専門員 3名（常勤専従） 1名（常勤兼務）

《目標》

- ・ 居宅サービス計画書作成に当たり、利用者の心身の状況・生活環境などに応じてご本人が、自立した生活が送れるように、関係機関と連携を図りながら適切なプランを作成しました。
- ・ 利用者・ご家族様への丁寧な対応を心がけ、信頼できる事業所を目指しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担はなし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 特定事業所加算Ⅲを算定。主任介護支援専門員4名を配置しました。
- ・ 地域包括支援センターと連携し、困難ケースへの対応に取り組みました。
- ・ 24時間の連絡体制を取り、利用者や家族からの相談・連絡を受け付けました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
98	92	93	89	90	89
10月	11月	12月	1月	2月	3月
93	93	92	90	87	85

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 生活リハビリ
- 入浴（希望者のみ）
- 個別機能訓練（希望者のみ）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 703円（要介護2） 830円
 - （要介護3） 962円（要介護4） 1094円
 - （要介護5） 1226円
- 食費負担 800円 ● 入浴加算 53円
- サービス提供体制加算 19円 ● 個別機能訓練加算 60円
- 中重度者ケア体制加算 48円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の1000分の22に相当する単位

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:00 ~ 17:00

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 4名
- 介護職 15名
- 看護師 4名
- 運転手 1名
- 栄養士 1名
- 調理員 4名

《目標》

ご利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行われるようにしました。また、ご家族様・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行いました。ご利用者様の状態を把握し、介護支援専門員や他事業所と綿密に連携を図り、安定した在宅生活が行われるようにサービスを提供しました。また、個別機能訓練では希望者対象にご家族様・ご本人様の要望に対し個々の目標を立て、それに沿ったプログラムを個別に実施しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気が味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行います。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙かけたお食事を提供しています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
660	652	611	608	615	637
10月	11月	12月	1月	2月	3月
639	596	585	591	542	585

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 生活リハビリ
- 入浴（希望者のみ）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（要支援1） 1765円（要支援2） 3620円
- 食費負担 800円
- サービス提供体制加算
（要支援1） 77円（要支援2） 154円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の1000分22に相当する単位

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:00 ~ 17:00

《職員体制》

- 管理者 1名
- 生活相談員 4名
- 介護職員 15名
- 看護師 5名
- 運転手 1名
- 栄養士 1名
- 調理員 4名

《目標》

ご利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行われるようにしました。また、ご家族様・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行いました。ご利用者様の状態を把握し、介護支援専門員や他事業所と綿密に連携を図り、安定した在宅生活が行われるようにサービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気が味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行います。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙かけたお食事を提供しています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	16	16	17	18	21
10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	21	20	20	21	17

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

地域の中で身近な相談窓口・福祉保健活動の拠点として、自主事業・会議・講座等の様々な場面で相談・情報提供を実施し、地域との信頼関係に努めています。特に声が届きにくい地域へ積極的に出向き必要な情報提供を図っています。また関係機関と密に連携を図り地域で支えられる体制の強化を図っています。特に認知症SOSのネットワーク構築を進める中で、近隣施設等との連携強化が図れています。今後も継続的に五職種が連携し協働にて地域で安心して暮らせる支援に努めていきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

五職種の専門性、相互協力による連携を密に図り、地域の情報から支援方法を恒常的に情報共有し事業展開できるよう努めています。特に自主事業ではアンケートを実施し、事業評価をしてより効果的な事業の取り組みに努めています。定期的な情報共有を図り地域の課題を分析し専門性を生かしケアプラザ全体で支援を実施しています。今後も現在実施している地域連絡会・地域ケア会議等を通じて増々地域と協働にて地域の活性化を図っていきます。

3 職員体制・育成

安定した業務運営のために適切な人員配置・適材適所を行い、維持に努めています。また個々の資質の向上が図れるように研修会等への参加、情報交換等の場を設ける等の育成を図っています。特に職員が働きやすく、誇りを持って仕事に取り組む事ができる環境整備・チーム作りを目指しています。法人全体の研修会等にて情報交換の機会を設け相互向上を図っています。また年1回以上の職員意向調査の実施をしています。今後も法人全体で職員の確保、環境整備を図っていきます。

4 地域福祉のネットワーク構築

地域住民・行政・関係機関等の地域全体で顔が見える関係づくりができるよう地域のネットワーク構築をしています。特に地域毎の共通課題による共助体制の強化を図っています。地域のニーズに合った講座等を実施し情報の交換・共有化を図り信頼関係の構築を継続的に図れています。また防災・防犯対策の推進等により、地域の方と一緒に安心なまちづくり、災害時の避難支援体制の確保等の取組を進めています。認知症の方に限らず地域の中で見守りの必要な方への支援を地域の方と一緒に進めています。連絡会等を通じて関係機関との連携を深め課題解決に努めました。今後もできるだけ多く、地域の会議等に出席し地域の特性に合わせた支援を行っていきます。

5 区行政との協働

地域との信頼関係、行政との連携を深め、地域に根付いたケアプラザであるよう地域の状況把握、必要な支援を実施していくと同時に、所内での情報共有・意見交換を図りました。また地域の発展のために積極的に意見を述べました。また区行政・区社会福祉協議会と協働にて地域の特性を把握し、地域ごとの必要なテーマにて効果的な関係づくりと信頼関係を構築しています。特にほっとなまちづくりは事業企画担当、SOSネットワークは高齢・障害支援課、子育て・ダウン症の会はこども家庭支援課と協働しています。また健康づくり係とウォーキング講座の開催に向けて進めています。今後も積極的に行政と連携を図り地域の安全と安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

①広報紙での活動団体の紹介をはじめとし、活動団体案内冊子を通じて、団体へ参加したいという方も増えてきました。作業所のとうふ販売を広報紙に周知する事でより多くの方に知ってもらうことができました。

次年度は今年度あまり実施できなかった地域の子育てサロンの紹介や地域活動の紹介をしていくことを重点的に行っていきたいと思っています。

②今年度も5職種で地域へ足を運び情報収集や課題抽出、関係作りを行う事ができました。地域の子育てサロンの課題を地域へ発信し、解決に向けてのお手伝いをする事ができました。

次年度は老人クラブの活動なども把握し、引き続き地域の方々との関係作りを実施していきたいと思います。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

①前年度実施した部屋利用説明・交流会や今年度実施した部屋利用説明会を通じて、徐々に団体間の交流を垣間見ることができ、介護予防系団体とミニデイを行っている団体間での協力もありました。

②施設利用マニュアル変更に伴い、より多くの方々にケアプラザを利用してもらうことが可能になると考えています。地域の方々が地域活動を行うキッカケになる場を目標に、ケアプラザを利用してもらえるよう、引き続き部屋利用手引き等を活用し周知していきます。

3 自主企画事業

①事業アンケートや参加者にインタビューを行いました。特に子育て関係の自主事業においては参加者のニーズを意識した内容を実施することを心がけました。

ただし、すべてが反映できたわけではないのが現状です。引き続きケアプラザがキッカケとなり地域活動へ繋げていける様、検討していきます。

②地域活動の第1歩へ繋げることと、担い手発掘を目的に傾聴講座を地域包括支援センターと生活支援コーディネーターとともに企画・実施をしました。またケアプラザでない場で事業を行う事により、様々な方々がつながる場になったと思っています。参加者の中には地域で活動してみたいと思っている方もいるため、その方々を支援していく事を引き続き行っています。

③小学校の総合学習の時間を頂き、地域福祉についての授業および体験を学校の先生と話し合いながら実施することができました。

次年度もより多くの方々が地域での活動に興味・関心を持ってもらえる様引き続き地域へ出向いて実施していこうと考えています。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

①ボランティア団体同士の連携強化として、保土ヶ谷区社会福祉協議会、ボランティアセンターの協力を得て、地域包括支援センターと生活支援コーディネーター共催にて、ボランティア連絡会を開催したことにより、団体間協力もできるようになり、ボランティアの活動の幅を広げることができました。

今後はケアプラザ内のボランティアさんと地域で活動している方々の橋渡しを円滑にできるよう、ボランティア連絡会を通じて引き続き検討していきます。

②よこはまシニアボランティア登録研修会を実施し、男性ボランティアやデイサービスのボランティアへ繋ぐことができました。シニアボランティアポイント登録研修会を実施できるスタッフが3名いることが当施設の強みでもあります。引き続きケアプラザ内のボランティアさんの発掘および活動へ繋げていける様にしていきます。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談
<p>・個別相談に対し、五職種会議、区および区社協とのカンファレンスでの情報共有、必要時には随時お互いに情報共有を図りながら三職種のみならず五職種連携して適切な対応、支援を行ってまいりました。又、区とのカンファレンスにて相談の傾向等、整理分析し地域ケア会議や、地域の講座などにつなげてまいりました。特に困難事例と思われるケースについては、五職種及び区と緊密に情報共有し、継続的なかかわり、それぞれの職種ごとの役割分担とともにお互い連携を図りながら、継続的な関わりを持ち具体的な支援に結び付けてこられたと思います。又、緊急対応が必要なケースにつきましても五職種及び区と連携し迅速な対応が出来ました。</p> <p>・出張講座、出張相談等につきましては、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携し、個別相談の分析や、地域からの情報、要請を受け、介護予防、認知症等の講座を地域ケアプラザの周知とともに包括、生活支援、地域活動交流共催で行ってまいりました。又、地域の事業の立ち上げについては、包括三職種、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携共催し各地区での開催を検討中しています。</p>

地域包括支援ネットワークの構築
<p>・エリアが広い為、三職種で地域担当を決め生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとともにほっとなまちづくりをはじめ各地区の民児協、定例会に参加し、社会資源、地域のネットワーク等の状況把握、地域の情報、課題を共有する為の支援ネットワークの構築を図るとともに、地域方々との関係もより強化されてきたと思います。又、今年度は、介護予防連絡会、ボランティア連絡会を立ち上げるとともに、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会（民生委員の方とともに）を開催し、資源情報収集や地域との連携社会を図るとともにそれぞれの横のつながり、顔の見える関係づくりの強化を図ってまいりました。</p> <p>・地域ケア会議についても、地域の方々を始め、必要に応じ医師、精神科の訪問看護師等にも参加していただき地域のネットワークの拡大とともに地域のニーズや地域資源を把握し連携を強化してまいりました。又、ケアプラザとは離れた地域である岩井町の太陽の國保土ヶ谷にて地域ケア会議を開催させて頂き、太陽の國保土ヶ谷と地域との又、ケアプラザと岩井町、太陽の國保土ヶ谷との連携強化が図れました。今後も太陽の國保土ヶ谷のお部屋を利用し岩井町の方を対象にサポーター養成講座等開催していく予定です。</p> <p>・認知症見守りネットワークについても、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会や民児協等地域の集まり等に参加させていただいた際に見守りネットワークの紹介、ご説明をさせていただき、周知してまいりました。地域の民生委員、地域のケアマネジャーから、見守りネットワークへの登録依頼、問い合わせが増えてきています。</p>

実態把握

・区カンファ、五職種会議等で総合相談について、相談の傾向等分析を行うとともに、五職種連携し、民児協、ほつとなまちづくり、各地区定例会、老人会等地域の事業に参加した際、地域の方より直接ふだんの困りごと地域の実態を把握するとともに、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会、介護予防連絡会、ボランティア連絡会、ゆったりサロン（介護者の集い）等を通し圏域の情報を把握してきました。今まで同様、認知症、精神疾患、独居、高齢者ご夫婦世帯が多いことを再確認しました。今年度は、カフェやサロンの立ち上げは出来ませんでした。引き続きこれらを参考にしながら地域のカフェやサロンに参加させていただきミニ講座等行うなどして参りました。今後も、地域のカフェ、サロンに参加しケアプラザの周知、認知症の方に対する理解、対応、普段の見守りの普及啓発等のミニ講座を行って行きます。

2 権利擁護

権利擁護

・3月に消費者被害の講座を桜ヶ丘自治会のふれあいサロンで開催を行います。（予定）また会合などで消費者被害に対する状況を報告し、注意喚起を図りました。

・2月に地域住民向けに成年後見等に関する講座を開催します。（予定）またケアマネジャーや個別の相談から成年後見制度の説明や個々の状況に応じた制度の利用を社会福祉士、行政書士や司法書士、弁護士、といった専門職と連携をとりながら個別支援を行っています。

・成年後見サポートネットにおいて勉強会や事例に対する検討をおこない、専門家との連携ができるようになった。また事例検討することで、個別ケースの相談の際にどのように支援を進めていくかを学び、役立てました。

高齢者虐待

・地域のカフェに出向いたときに「頑張り過ぎない介護」ということで虐待の未然防止の普及啓発をおこないました。

・介護者のつどいを年9回開催し、介護者支援を行いました。

・虐待指針マニュアルの読み合わせ等を所内の委員会で行い、虐待に関する意識を高めました。また個別ケースでは区役所、ケアマネジャー、医療機関等と必要に応じて連携をとり、情報を共有し対応を行いました。

認知症

・認知症養成講座を4回開催しました。（初音ヶ丘地区センター、グリーンビル、ほっこり茶屋、岩崎地域ケアプラザ、太陽の國ほどがや（3月予定））

・保土ヶ谷区認知症SOSネットワークの普及にケアマネ連絡会やプラザ祭り、フレンドシップ・デー、また個別相談で必要が見られるケースの際に周知に努めました。

・個別ケースで見守りが必要な方にケアプラザや行政機関、医療機関、介護保険事業所と連携を重ね、見守る体制を個別で構築しながら、地域でのネットワークへの意識を高めていきました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

生活支援、地域交流と連携してインフォーマルサービスの冊子を作成し、地域住民に情報提供していきました。また、ケアマネ連絡会やインフォーマルサービスの学習会を開催し、情報提供や自立に向けた介護予防ケアマネジメントの必要性を伝えていきました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

・今年度も総合相談に対し必要に応じ地域の民生委員、区と連携し対応支援してまいりました。独居世帯、高齢者世帯、認知症、精神疾患が疑われる方に対しては、五職種連携し迅速な対応をしてまいりました。又、地域の民背員からの相談、情報提供があった際には、敏速に対応しその結果をすぐに相談者にお返しし、地域の民生員の方々との連携を図ってきました。又、地域のケアマネジャーや、介護事業所からの相談、情報提供に対しても、必要に応じ、個人情報等に気をつけながら、民生委員、ケアマネジャー、介護事業所と連携して対応してきました。

これらの相談の傾向を踏まえ、地域ケア会議を開催し地域の方々、事業者、ケアマネジャー、医療関係者、法律関係者（行政書士）などにも参加していただき地域課題について意見交換、検討が出来連携が強化されています。今年度は今まで積み重ねてきた個別地域ケア会議から共通した課題（見守り）について包括域地域ケア会議を開き包括域の方々との意見交換、検討し連携を図るとともに、今後につなげていければと思います。

・今年度は、五職種共催にて、地域の民生委員に参加していただきケアマネ連絡会を開催、新たに介護予防連絡会、ボランティア連絡会を開催し、事業所のみならず、地域の方々との情報共有、連携の強化がより図れました。又、それぞれの連絡会等で得られた地域のインフォーマルサービスについて、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとともにインフォーマルサービス情報一覧を作成し、総合相談、地域の方々、ケアマネジャーからの問い合わせに対応してきました。

・認知症見守りネットワークにつきましては、それぞれの連絡会、各地区民児協、連町定例会、地域のサロン、カフェに、地域密着型サービスの運営推進委員会など様々な機会に紹介説明をさせて頂き、登録依頼、問い合わせが増えてきています。今後も、様々な機会に紹介説明をしていきます。

医療・介護の連携推進支援

・区内7包括、区、区社協、保土ヶ谷区医師会在宅利用相談室と共催で行った多職種連携会議に際し、エリア内の医療機関、事業所に訪問し、顔の見える関係が出来ました。又、多職種連携会議を通し、地域の医療機関、ケアマネジャー、介護事業者と情報共有、連携を深められました。今後も、様々な機会に医療機関の方々に参加していただけるような関係づくりを行って行きたいと思っております。

・総合病院のケースワーカーとも個別の依頼含め常に連携を図れました。又、区内7包括共催で区内総合病院MSWとケアマネの懇談会と題してケアマネ連絡会を行い、連携を図ってきました。

・区包括社会福祉士と区共催で、育生会横浜病院で認知症講座を開催し地域の方含め病院との連携を図れました。

・地域ケア会議にも医師、訪問看護事業者、精神科訪問看護事業者に参加頂き意見交換、連携の強化が図れました。今年度は、担当エリアのなかでもっとも遠い地区にあ

る特別養護老人ホーム太陽の國のお部屋をお借りし、太陽の國の施設長、相談員の方にも参加頂き地域ケア会議を開催できました。今後も連携を図り様々の事業を行っていきたくと思っています。

- ・その他、総合相談、介護予防支援のなかで、医療機関等関係機関との連携し対応してきました。

ケアマネジャー支援

- ・地域の居宅介護事業所への訪問や来所時に困難事例等ケアマネジャーからの相談に対し、助言、同行訪問、カンファレンス開催、ケアマネジメント等についてのアドバイス、指導などしてきました。又、ケアマネジャーから担当者会議参加依頼があった際には日程調整がつく限り参加させて頂き、ケアマネジメント等についてのアドバイス、指導をしてきました。これらの相談の傾向を踏まえ地域ケア会議での検討もしてきました。
- ・各地区の民生員の方々にも参加頂き五職種共催で岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会を開催し意見交換、情報交換とともに地域のケアマネジャーと民生委員の方々との顔の見える関係づくりをしてきました。特に、困難事例等必要時には、地区担当の民生委員との顔つなぎ、必要時には同行訪問し連携を図ってきました。請求業務の基本についての勉強会については開催できませんでしたので、来年度には行いたいと思っています。
- ・区内7包括合同ケアマネ連絡会、主任ケアマネ連絡会を開催しケアマネジャーのスキルアップに努めてきました。
- ・区内7包括で新任・就労予定ケアマネジャー研修を実施しました。参加ケアマネジャーの1名については、実習も担当させていただき、ケアマネジャーとしての心構え等についてアドバイスしてきました。
- ・地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとインフォーマルサービス一覧を作成し、地域のケアマネジャーからインフォーマルサービスについての問い合わせがあった際活用してきました。今後も、一覧のアップデートをして行きます。
- ・上記の活動により、より地域のケアマネジャーさんたちが気軽に相談に来れる雰囲気づくりが出来ているのではと思っています。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・今年度は個別地域ケア会議2回、包括域地域ケア会議1回（H29.2or3開催予定）に医療機関、訪問看護師（精神）、介護事業所、地域のケアマネジャー、地域の民生委員等に参加いただき、総合相談、ケアマネジャーからの相談、地域の事業等へ参加の際に得られた地域の課題である日頃の「見守りについて」を中心に、医療関係者、訪問看護師（精神含む）、介護事業者、施設職員、地域の民生委員、行政、社協の方々等に参加頂き、多職種の連携を図ってきました。今後も継続して、認知症等の方の早期発見等を目的とした地域の見守りについて具体的な方法（インフォーマルサービス）等含め検討していければと思っています。そのなかで新たなニーズの発見にもつなげていきたいと思ひます。
- ・今年度は、包括域地域ケア会議（H29.1or3）もあり、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会では岩崎エリアの医療機関とケアマネジャー、介護事業者との情報交換、意見交換の機会をもてませんでした。来年度に実施できればと思ひます。

介護予防事業

介護予防事業

区開催のきらり☆シニア塾始め方講座に参加し、そこから新たな人材を見つける事ができ、その人材を中心に介護予防教室開催につなげることができました。また、保土ヶ谷東部地区を対象に介護予防連絡会を開催し、地域の活動グループの支援を行いました。霞台老人クラブを対象に介護予防教室を開催し、今後グループ立上げの土台を築きました。年間を通してグループ支援、きらり☆シニアの周知や拡大のきっかけ作りを生活支援や地域交流と実施していきました。

生活支援体制整備事業

地域ケアプラザエリアの問題共有を行い協議体として課題解決に向けての仕組づくりに向けて取組を進めました。介護保険事業所、民間企業を含めた地域の団体を含め視野にいれ参加者の選定をしました。介護保険と介護保険外サービスの違いを周知する講座を行いました。生活支援体制整備事業について、生活支援コーディネーターの役割等について周知を行い、地区社協、老人会、小学校等を含め関係機関と連携を図るため、説明会を行いました。さらに、保土ヶ谷区の生活支援コーディネーター共同にてチラシを作成し、生活支援体制整備事業の説明及び周知資料として活用することができました。地域で行っている生活支援サービス、サロン等を含め情報収集、地区情報シートの作成等を行い、環境の把握と整備を行いました。地域の取組に参加をして実態把握や参加者からのニーズ調査などを行いました。ボランティア団体同士のネットワーク構築を図るため、ボランティア連絡会を開催し、ボランティアの活動の幅を広げることができました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	17,782	27,458	151	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	3,100	19,007	75,044	5,903	0
	その他	0	0	0	3,370	419	7,618		0
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	3,370	0	0		0
	認定調査委託料	0	0	0	0	419	0		0
	食費収益	0	0	0	0	0	6,806		0
	経常経費寄付金収入	0	0	0	0	0	75		0
	受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	1		0
	その他の収入	0	0	0	0	0	736		0
収入合計(A)	17,782	27,458	151	6,470	19,426	88,565		5,789	
支出	人件費	9,820	24,344	0	4,681	16,795	71,537		5,377
	事務費	1,660	3,209	0	158	1,240	2,903		
	事業費	322	276	150	2	0	6,452		276
	管理費	6,704	1,384	0	550	1,652	8,057		
	その他	786	0	0	0	232	1,520		0
	消費税	786	0	0	0	0	0		0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	232	731		0
	修繕費積立	0	0	0	0	0	789		0
支出合計(B)	19,292	29,213	150	5,391	19,919	90,469		5,653	
収支 (A) - (B)	-1,510	-1,755	1	1,079	-493	-1,904		136	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入				
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ケアマネ連絡会	①地域のケアマネジャー・民生委員	0		0	0	0	0
	②102名						
	③無料						
区内7包括主マネ共催 合同ケアマネ連絡会	①地域のケアマネジャー	1,800		0	0	0	1,800
	②916名						
	③無料						
ゆったりサロン (介護者のつどい)	①地域住民	16,767		0	0	0	16,767
	②67名						
	③無料						
権利擁護事業 成年後見講 座	①地域住民	4,957		0	0	0	4,957
	②8名						
	③無料						
キャラバン・メイト連絡会	①地域住民	0		0	0	0	0
	②60名						
	③無料						
認知症サポーター養成講座	①地域住民	0		0	0	0	0
	②72名						
	③無料						
出張相談	①地域住民	0		0	0	0	0
	②1名						
	③無料						
高齢者が騙されやすい消費 者被害について	①地域住民	0		0	0	0	0
	②32名						
	③無料						
はつらつ教室	①地域住民	39244		0	0	32000	6684
	②15名程度×3回						
	③無料						
さつき会健康講座	①地域住民	52688		0	0	44000	7848
	②30名程度×4回						
	③無料						
玄米ダンベル講座	①地域住民	8560		0	0	8000	560
	②15名程度						
	③無料						
健康イベント	①地域住民	33000		0	0	24000	9000
	②100名程度						
	③無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
さくらの木スキルアップ研修	①さくらの木参加者	8560	0	0	8000		560
	②15名程度						
	③無料						
桜ヶ丘自治会健康講座	①地域住民	8000	0	0	8000		
	②20名程度						
	③無料						
福祉用具を知ろう	①概ね65歳以上の方	151	0	0	0	0	151
	②13名						
	③無料						
介護保険の使い方	①地域住民	151	0	0	0	0	151
	②8名						
	③無料						
配食STUDY	①地域住民	302	0	0	0	0	302
	②20名						
	③無料						
ボランティアカレッジ 傾聴講座	①ボランティア活動に興味の方	31947	0	0	16704	0	15243
	②33名						
	③無料						
おりがみサロン	①概ね65歳以上の方	11959	0	1800	0	9839	2120
	②18名						
	③1回100円						
ちくちくサロン	①概ね65歳以上の方	30239	0	0	0	29679	560
	②9名						
	③無料						
玄米ダンベル講座 (リーダー養成講座)	①地域住民	43701	0	0	8000	34060	1641
	②10名						
	③無料						
ダウン症の会	①ダウン症の子と親	67788	0	15200	60132	936	6720
	②152名						
	③200円(1組)						
こどもランド	①未就園児の親子	25259	0	0	6682	6257	12320
	②205名						
	③無料						
イスと体操	①地域住民	135090	0	36500	120264	1386	13440
	②365名						
	③100円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
大人のヨガ教室	①地域住民	56478	0	11800	50110	768	5600
	②59名						
	③200円						
リズムあそび	①未就園児の親子	95592	0	35700	72162	4350	19080
	②238名						
	③300円(1組)						
救急法	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②9名						
	③無料						
シニア世代対象 ハワイアンフラダンス教室	①60歳以上の方	29406	0	12600	20046	0	9360
	②42名						
	③300円						
豆腐販売	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②86名						
	③無料						
ボランティア連絡会	①CP活動V○団体代表	0	0	0	0	0	0
	②12名						
	③無料						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	①市内在住65歳以上の	0	0	0	0	0	0
	②7名						
	③無料						
夏休み銅版工芸教室	①近隣の小学生	3901	0	0	3341	0	560
	②11名						
	③無料						
おしえて幼稚園のこと	①未就園児の親子	0	0	0	0	0	0
	②4名						
	③無料						
ほっとフレンズ	①障害者の方	0	0	0	0	0	0
	②132名						
	③無料						
霞台公園で遊ぼう	①未就園児の親子	0	0	0	0	0	0
	②33名						
	③無料						
ほどがや区民まつり 地域活動交流ブース	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②450名						
	③無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
20周年記念プラザまつり	①地域住民	62231	0	50450	0	62231	0
	②600名						
	③模擬店により異なる						
部屋利用説明会	①CP活動団体代表者	0	0	0	0	0	0
	②23名						
	③無料						
瀬戸ヶ谷小学校4年1組総合授業～地域福祉について考えよう～	①瀬戸ヶ谷小4年1組生徒および保護者	0	0	0	0	0	0
	②96名						
	③無料						
防災センターへ行ってみよう お昼はカフェでランチ	①障害者の方とその親	0	0	0	0	0	0
	②6名						
	③無料						
ウォーキング講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②15名						
	③無料						
区内病院認知症講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②70名						
	③無料						
介護予防連絡会	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②78名						
	③無料						
医療講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②22名						
	③無料						
出張講座	①地域住民	0	0	0	0	0	0
	②403名						
	③無料						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のケアマネジャー、民生委員との連携強化 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のケアマネジャー、民生委員に参加していただき、7月は、徘徊SOSネットワークについてご説明とともに、意見交換。3月は、高齢者をとりまくサービスについて講義後、地域のインフォーマルサービスの紹介、あったらいいなと思うサービスについて意見交換を行った。 	○7月、3月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内7包括主マ ネ共催合同ケア マネ連絡会	<p>【目的】</p> <p>区内のケアマネジャーの研修会を開催しスキルアップを図る</p> <p>【内容】</p> <p>区内担当している主任ケアマネジャー対象及びケアマネジャーを対象に研修会開催。</p>	主任ケアマネ ジャー対象=年2回 ケアマネジャー対 象=年8回 (4, 5, 6, 9, 10, 11, 1 2, 2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりサロン (介護者のつど い)	<p>【目的】</p> <p>介護者支援・虐待防止</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護者及び介護に関心のある方を対象に、日頃の悩みや情報交換を行う。ピアサポートの場を提供する。専門職を招き、意見交換などを行った。 施設見学や、4弦楽アンサンブル、クリスタルボールヒーリングなど情報交換以外のことも行い、リラックス効果などをはかった。 	第3木曜日 年9回 (4, 5, 7, 9, 10, 11, 12 2, 3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業 成年後見講座	<p>【目的】</p> <p>権利擁護に対する普及、啓発</p> <p>【内容】</p> <p>行政書士を招き、成年後見と任意後見の違いやそのメリット・デメリットを講義していただいた。</p>	年1回 (2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キャラバンメイ ト連絡会	<p>【目的】</p> <p>認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座開催、研修等実施。 ケアプラ祭り、本陣フレンドシップデー参加 	4月11日、5月9日、 6月13日、7月11 日、9月12日、10月 17日、11月14日、 12月12日、1月16 日、2月12日、3月 13日 計11回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築</p> <p>【内容】 認知症サポーター養成講座開催（ヒルズほっこりカフェ、初音ヶ丘地区センター職員向け、岩崎地域ケアプラザ地域住民向け、太陽の國ほ도가や）</p>	6月21日、7月19日、9月24日、3月25日 計4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	<p>【目的】 介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知・啓発、介護相談等</p> <p>【内容】 来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。</p>	6月8日、8月14日、8月19日、12月20日、2月12日、2月21日 計8回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者が騙されやすい消費者被害について	<p>【目的】 消費者被害を防止する為</p> <p>【内容】 高齢者が騙されやすい消費者被害について、地域での集まりの場を利用して注意喚起を行い、対応方法を伝える。</p>	3月12日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ教室	<p>【目的】 介護予防の普及・啓発を行いセルフケアに繋げる。</p> <p>【内容】 転倒予防・口腔ケア・栄養指導の実技・演習を踏まえた研修会を行った。</p>	7月14・21・28 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さつき会健康講座	<p>【目的】 介護予防の普及・啓発を行い自主活動のきっかけ作りに繋げる。</p> <p>【内容】 転倒予防・口腔ケア・栄養指導の実技・演習を踏まえた研修会、自主活動に向けての話し合い。</p>	6月19日 7月24日 10月23日 12月4日 計4回

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
玄米ダンベル講座	<p>【目的】 運動の必要性を理解しセルフケアに繋げる。</p> <p>【内容】 ロコモ予防のための基本ストレッチ・玄米ダンベル体操を行った。</p>	10月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康イベント	<p>【目的】 介護予防の普及・啓発。</p> <p>【内容】 ケアプラザ祭りの際に健康ブース設置し咀嚼力判定や栄養に関するクイズを行った。その際に介護予防の必要性を説明した。</p>	11月27日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さくらの木スキルアップ研修	<p>【目的】 スキルアップとモチベーション維持。</p> <p>【内容】 スクエアステップの講師を招き実技指導・活動の助言を行った。</p>	11月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
桜ヶ丘健康講座	<p>【目的】 介護予防の普及・啓発を行いセルフケアに繋げる。</p> <p>【内容】 認知症講座の研修会を行った。</p>	6月25日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具を知ろう	<p>【目的】 ①地域住民に対して福祉用具のレンタルの仕組みから使い方までを実際に手にとって学んで頂き、理解を深めてもらう。 ②地域住民に広く関心を持ってもらうと同時に、ニーズに合わせて生活の幅を広げてもらう。 ③福祉用具の便利さを理解し、可能な限り在宅で生活が維持できるように繋げていく。</p> <p>【内容】 福祉用具の由来からレンタルについて、福祉用具の使用法までを最新の福祉用具を使いながら実際に手にとって参加者が学ぶことができる内容で実施した。</p>	6月15日 計1回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護保険の使い方	<p>【目的】 介護保険についての理解及び生活支援サービスについての理解及び普及・啓発。</p> <p>【内容】 介護保険が必要になった時の申請手順や申請するときのおおよその目安。実際に介護保険を使ったサービスの実例や具体的な利用例。介護保険が使えない部分の生活支援サービスの使い方や利便性、国が進む方向性などの説明を、講師2人体制で行った。</p>	9月9日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食STUDY	<p>【目的】 生活支援サービスのひとつである配食についての有効性や利便性を理解する。</p> <p>【内容】 配食サービスについて、紙芝居形式で学んで頂き（見守りや認知症サポートも含むこと等）その後試食会を行う。講師より食事や配食サービスを行っている際のお客様からの声なども交えながら食事について説明する。</p>	9月1日 9月29日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアカレッジ 傾聴講座	<p>【目的】 ボランティアとは何かを学び、ボランティアの育成及び興味関心を持って頂く為のきっかけづくりを目的とする。</p> <p>【内容】 傾聴講座の実施</p>	10月3日 10月17日 10月31日 計3回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみサロン	<p>【目的】 手先を使った作業を行い介護予防(認知症予防)を図るとともに高齢者の方々の居場所づくりとなることを目的とする。</p> <p>【内容】 折り紙を使って作品づくり及び参加者との交流を実施 3月3日(9名)、3月13日(9名)</p>	3月3日 3月13日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちくちくサロン	<p>【目的】 裁縫を通じてサロンという開放の居場所を設け、誰でも気軽に集まれる場のきっかけ作りを目的とする。</p> <p>【内容】 裁縫を通じて交流の場をもつサロンの実施</p>	3月15日 計1回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
玄米ダンベル講座 (リーダー養成講座)	<p>【目的】 自宅でできる転倒予防のための体操の習得および今後、地域住民主体で実施するためのリーダー養成を目的とする。</p> <p>【内容】 地域の担い手の方を中心に体操講師による、ストレッチ・歩行安定のための運動・玄米ダンベルを使った体操講座を実施した。</p>	3月11日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ダウン症の会	<p>【目的】 ダウン症のお子様とご家族と一緒に楽しい時間を過ごすこと、また対象者やご家族の交流の場としても活用してもらうことを目的とする。</p> <p>【内容】 ヒップホップダンスを講師の方の指導のもと、対象者とご家族と一緒に踊る。 また、練習の成果をプラザまつり等にて発表した。</p>	毎月1回(第1土曜日) 計12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもランド	<p>【目的】 親子の居場所作りを行うとともに子供たちの成長を見つけていくとともに参加者同士(親と子)の交流の場を提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 月2回のうち1回はフリースペースにて開放した。 1回はイベント(季節に応じた内容)を開催し事業を実施した。 ※夏は七夕・プール、秋はミニ運動会、冬はクリスマス会を実施した。</p>	毎月2回(第2月曜日・第3土曜日) 計22回実施 ※5月および1月は月1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イスと体操	<p>【目的】 立位保持が難しい方を対象に座ったままでも出来る体操を習得してもらうことを目的とする。事業内で習得した体操を自宅でも行って頂くよう促すことで筋力低下を防ぎ介護予防にも繋げていく。</p> <p>【内容】 音楽に合わせイスに座ったままの体操を実施。</p>	毎月2回(第2・4木曜日) 計24回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のヨガ教室	<p>【目的】 体の柔軟性を保ち、リラックス効果と健康増進を目指すことやヨガを通じて日頃のストレスを解消できることを目的とする。また中間層の方々にケアプラザに来てもらうきっかけにすることでケアプラザの周知を図る。</p> <p>【内容】 リラクゼーションヨガの実施</p>	5月12日 6月14日 7月12日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 1月10日 2月14日 3月14日 計10回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズムあそび	<p>【目的】 未就園児の方を対象とし、リズムに合わせて体を動かしながら、季節感を感じられるようにする。幼稚園や保育園の通園に繋がる練習を兼ねることも目的としている。</p> <p>【内容】 季節感を感じれるイベント、リトミックを実施する。</p>	5月11日 6月1日 7月16日 10月5日 11月2日 12月7日 1月11日 2月1日 3月1日 計9回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法	<p>【目的】 救急法やAEDの使用方法を学ぶことにより、日々の生活の中で忘れがちな危機管理意識を再確認するとともに、地域の方々の交流の場としても提供する。</p> <p>【内容】 日本赤十字社に協力依頼をし、近隣住民を対象とした救急法講座(主にAEDを使用)を実施した。</p>	5月14日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア世代対象 ハワイアンフラ ダンス教室	<p>【目的】 ハワイアン音楽をかけながらダンスを踊る事によって気分転換、体力維持を図ることを目的とした。またシニア世代の方々の交流の場としても視野にいれ事業を展開することを目的とする。</p> <p>【内容】 シニア世代の方々を対象にしたフラダンスを実施し、交流の場としても活用して頂いた。</p>	5月20日 6月17日 7月15日 9月16日 10月21日 11月18日 計6回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豆腐販売	<p>【目的】 障害者の就労支援を具体的に支援するために、販売先の確保をする。そして、販売先での社会経験をもとに自立した生活が送れるように支援する。</p> <p>【内容】 とうふ工房による豆腐の販売を実施した。</p>	4月13日 5月11日 6月8日 7月13日 8月10日 10月12日 12月14日 1月11日 2月8日 3月8日 計10回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア連絡会	<p>【目的】</p> ボランティアグループ間の協力体制の構築及び情報交換を図り、団体間の繋がりを深める。地域のニーズを活動団体に伝え、活動の活性化を図ることを目的とする。 <p>【内容】</p> ソーシャルキャピタルについての講義および団体間における活動内容の共有をグループワークを通じ、実施した。また保土ヶ谷区ボランティアセンターの機能の説明も合わせて実施した。	6月30日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	<p>【目的】</p> 横浜市内在住の65歳以上の方を対象にシニアボランティアポイント研修会を実施し、地域活動に繋がるきっかけを作る。 <p>【内容】</p> シニアボランティアポイントの概要・ボランティアとは？・ボランティアの種類など登録研修会マニュアルに沿った内容で講義を実施した。	9月30日 3月31日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み銅版工芸教室	<p>【目的】</p> 夏休みの課題を早期に終わらせる機会として実施することで保護者に安心感を持ってもらうと共に、他学年や他校の子どもたちの交流の場として提供する。 <p>【内容】</p> 講師を呼び小学生を対象にした銅版工芸教室で作品を作成した。	8月2日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おしえて幼稚園のこと	<p>【目的】</p> 近隣幼稚園の様子や日常生活について聞くことを目的とする。 <p>【内容】</p> 近隣の幼稚園の卒園生の保護者を数名招き、参加者全体に向けて話をしていただいた。また、別途個別でも対応して頂き参加者が情報収集ができるよう心掛けた。 ※保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころ共催事業	7月29日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ	<p>【目的】</p> ①学校と家庭の往復になりがちな障害児に対して「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごす活動の場」を提供する。②障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。③地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。④関係機関及び団体との協力関係を深め、区内のケアプラザが障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように努める。 <p>【内容】</p> 保土ヶ谷区内小学生～高校生の障がい児を対象。余暇活動するに当たり事前に研修を行い、夏・春ともに参加者とボランティアがペアになり、おまつりとイベントを楽しんだ。	ほっとフレンズ夏8月 ほっとフレンズ春3月 計2回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
霞台公園で遊ぶ	<p>【目的】 親子で行う外遊びに関する学びや情報の提供。 子育てママたちのネットワークの構築を目的とする。</p> <p>【内容】 親子での公園あそび、近隣園児との交流を実施した。</p> <p>※岩崎エリア子育て支援連絡会共催事業</p>	11月2日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがや区民まつり 地域活動交流 ブース	<p>【目的】 区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 魅力の種マップ・不安の種マップを来場者に作成した。</p> <p>※区内全地域ケアプラザ、保土ヶ谷区役所共催事業</p>	10月15日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
20周年記念プラ ザまつり	<p>【目的】 こどもから高齢者までのすべての年代を対象にしたお祭りを実施することで当ケアプラザの周知をしていくことを目的とする。</p> <p>【内容】 ケアプラザの職員が主体となった模擬店、イベントを行う事によって地域住民との顔の見える関係作りを構築し、ボランティアの方にも協力をしてもらう事で地域へ向けてケアプラザの周知を図った。</p>	11月27日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
部屋利用説明会	<p>【目的】 部屋利用をされている方に登録更新・部屋利用の方法・変更点を報告する。また団体同士の交流を図り、今後の地域活動に向けての意欲向上を図る。</p> <p>【内容】 全市統一の部屋利用マニュアルの周知と共に、登録更新・部屋利用の方法を手引きを用いて説明を実施した。終了後は団体間の交流を併せて実施した。</p>	12月1日 12月16日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
瀬戸ヶ谷小学校4 年1組総合授業～ 地域福祉について 考えよう～	<p>【目的】 学校の総合授業において地域福祉をテーマに進めることで、「地域には様々な人が暮らしていること」や「地域での様々な支えあいの取組みがあること」などを理解する。上記を通じて気づきや、それを支えあう思いやりや助けあいの気持ちなどの大切さや自分たちが暮らしている地域や福祉への関心が高まることを目的とする。</p> <p>【内容】 ・地域ケアプラザ・地域福祉についての講義およびグループワークの実施 ・地域ケアプラザのデイサービスの利用者との交流・施設見学 ・父兄への学習発表会</p>	12月15日 1月19日 3月8日 計3回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防災センターへ行ってみよう お昼はカフェでランチ	<p>【目的】 学校と自宅の往復になりがちな障がい児に親子で日頃行かない場所へ行く事で、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。</p> <p>【内容】 親子での外出企画とし、お昼はカフェにて食事を行いその後、横浜市市民防災センターへ移動し、館内の体験ツアーを実施した。</p>	2月25日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング講座	<p>【目的】 多世代にわたり健康づくりに取り組むキッカケを持ってもらう事と岩崎地域ケアプラザエリアでは高齢者人口が増えている現状を踏まえ、健康習慣の一環としてウォーキングを普及することを目的とする。</p> <p>【内容】 横浜市体育協会講師の指導による体力測定と効果的なウォーキング方法を体験した。</p> <p>※保土ヶ谷区福祉保健課健康づくり係 共催事業</p>	3月17日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内病院認知症講座	<p>【目的】 病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない層へ認知症に関する正しい知識を持って頂く機会とする。また、併せてケアプラザに関する周知活動も行うことで、区内全体でのケアプラザへの認知度向上も目指す。</p> <p>【内容】 育生会病院では、病院側から「地域包括ケア病棟」と「認知症について」、「老健、特養の違い」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「自宅での生活を支える役割と機能」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。 横浜保土ヶ谷中央病院では、区役所から「地域包括ケアシステムについて」、横浜保土ヶ谷中央病院側から「認知症について」と「地域包括ケア病棟」の部分の講演を実施。また、ケアプラザからは「介護保険・地域ケアプラザの役割について」と題し、包括の役割を中心とした講演を実施した。</p>	10月22日、11月4日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防連絡会	<p>【目的】 自主活動グループの交流を図り、今後の活動のモチベーション維持やスキルアップを目的とする。</p> <p>【内容】 各グループの活動内容の発表や体操講師による研修を実施</p>	3月4日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講座	<p>【目的】 地域の方々を対象に健康に関する普及啓発</p> <p>【内容】 施設協力医による食中毒についての講義および動画視聴の実施 インフルエンザについての講義を実施</p>	5月12日 11月22日 計2回実施

平成28年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	<p>【目的】 担当地域が広範囲のため地域で行っているサロン等に参加し、介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等を遠方地域へ出向き、地域ケアプラザを身近に感じて頂くと共に、身近な存在であることを理解できる場を設定する。</p> <p>【内容】 自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象にニーズに応じた講座を行い、情報提供及び情報収集を行う。又、総合相談から得られた課題を地域住民に周知し、ともに解決していく啓発を行う。</p>	各地区社協、自治会、老人クラブ等にて 計13回実施